

## 第1問

6月と言えば、『梅雨（つゆ）』です。なぜ漢字では『梅雨』と書くようになったのでしょうか？

### 1. 梅が熟す時期だから

梅が熟す頃に降る恵みの雨であることから、『梅雨』と表記されるようになったとされています。

他にも【この時期は湿度が高くカビが生えやすいことから『霪雨（ばいう）』と呼ばれていたものが同じ音の『梅雨（ばいう）』に変化した】や【この時期は『毎』日のように雨が降ることから、『梅』という字が当てられた】などの説があります。

## 第2問

梅雨時によく見かける「カタツムリ」。カタツムリは藻や野菜、キノコなどを食べますが、他にもある意外なものを食べています。それは一体なんなのでしょうか？

### 3. コンクリート

カタツムリが食べる意外なものは、コンクリートです。

カタツムリの殻は生まれた時からついている体の一部であり、炭酸カルシウムという成分で出来ています。カタツムリが殻を維持・形成するためには、炭酸カルシウムを摂取する必要があります。雨にさらされたコンクリートからは炭酸カルシウムが染み出してくるため、カタツムリはこれを摂取していると言われています。

### 第3問

雨具の『合羽(かっぱ)』は、なぜそのような名前になったのでしょうか？

#### 2. 外来語に漢字を当てはめたから

『合羽』はポルトガルから伝わったものであり、ポルトガル語の『capa』が元になった外来語です。合羽は後に付けられた当て字であり、江戸時代頃から使われるようになりました。

### 第4問

6月18日は、「おにぎりの日」なのですが、おにぎりにちなんで「おにぎり」と「おむすび」の違いはなんでしょう？

#### 3. 形の違い

##### 答えの解説

なぜ6月18日がおにぎりの日なのかというと、日本で最古の「おにぎりの化石」が発見されたのが由来となっています。

おむすびは、山型(三角形)でないといけなくて、おにぎりはどんな形でも良いという風にいられています！